

久慈地方の「乾しいたけ」をもっと知ってもらいたい ～原木乾しいたけ販売促進・消費拡大の取組状況～

県内最大の産地となっている久慈地方産の乾しいたけをもっと知ってもらい、消費拡大・販売促進につなげるため生産者・関係者が一丸となって以下の取組を進めています。

1 JR東日本との連携

JR東日本盛岡支社と県が連携し、7月7日の「乾しいたけの日」から盛岡駅構内でPRを行うとともに、久慈地方産乾しいたけを使用したオリジナルメニューを提供するフェアを開催（7/7～8/16）しました。また、10月27日から久慈地方産原木乾しいたけを使った“ワインに合うおつまみ”が盛岡駅構内などで販売されることになりました。

2 食堂列車「東北エモーション」へのPR

また、生産者とともにJR八戸線のレストラン列車「東北エモーション」へおもてなしの気持ちを込めて手を振る活動「洋野エモーション」へ参加しています。「この列車で久慈地方産の美味しい乾しいたけがメニューとして登場して欲しい」との生産者の熱い意欲をアピールしています。



3 量販店向け商品「どんこスライス」の開発

久慈地方産の乾しいたけは良質な肉厚の「どんこ」が特徴。久慈石太郎さん（久慈市）が生産する「どんこスライス」は日椎連箱物品評会で8年連続優等賞（林野庁長官賞）を受賞するなど高い評価を得ています。

こうした良質の久慈地方産乾しいたけは、そのほとんどが市場取引されており、「地元の乾しいたけを地域でも容易に入手できるようにしてほしい」との声に応え、森林組合とともに



に地元量販店への販路開拓に取り組みました。

平成26年から商談を始め、パッケージデザインを経て、27年4月から久慈市内2店舗（ユニバース久慈川崎町店、ショッピングセンター店）で「岩手県産原木どんこスライス椎茸」の商品名で販売を開始することができました。

今後も、地元消費と取扱店舗の拡大に取り組んでいきます。